

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務Ⅰ		指導担当者名	矢田部 翔子	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備完了を目標とする。				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・一般常識 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	教科書(SUCCESS)				
授業外学習の方法	自己PRの作成、企業研究を行う				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 P7働く意義 宿題として出す		
	2	就職活動の心構え身だしなみ	P7宿題振り返り P9企業が求める人材とは		
	3	就職活動での身だしなみ	P13まで 身だしなみ		
	4	就職活動の流れ	P16まで 特に学校でのルール		
	5	自分自身を知る 自分史の作成 1	P26まで		
	6	自分自身を知る 自分史の作成 2	P26まで		
	7	職業を知る	P29まで 職種と業種の違いが分かるように *志望動機は飛ばします		
	8	情報収集、企業研究、資料請求 1	P36～P45まで 特にインターネットとメールのマナーをお願いします		
	9	情報収集、企業研究、資料請求 2	P36～P45まで 特にインターネットとメールのマナーをお願いします		
	10	情報収集、企業研究、資料請求 3	P36～P45まで 特にインターネットとメールのマナーをお願いします		
	11	求人票の見方 インターンシップとは	P50まで 特にインターネットとメールのマナーをお願いします		
	12	一般常識	一般常識確認		
	13	自己PR	自己PR作成		
	14	期末試験			
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務 I		指導担当者名	矢田部 翔子	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備完了を目標とする。				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・一般常識 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	教科書(SUCCESS)				
授業外学習の方法	自己PRの作成、企業研究を行う				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1	P30~34 業界、会社にあった動機作り		
	2	志望動機の作り方 2	P30~34 業界、会社にあった動機作り		
	3	制作書類 1	P58まで エントリーシート		
	4	制作書類 2	P58まで 各種書類(添え状、ポートフォリオ等)		
	5	制作書類 3	P58まで 履歴書作成		
	6	制作書類 4	P58まで 履歴書完成		
	7	企業訪問	P64まで 準備、当日、事後の指導をしてください		
	8	就職試験のマナー 1	P69まで 入退室		
	9	就職試験のマナー 2	P74まで 面接試験対策1		
	10	就職試験のマナー 3	P81まで 面接試験対策2		
	11	筆記試験対策	P89まで 特に小論文の書き方		
	12	小テスト	一般常識テスト		
	13	実技テスト	面接時の入退室		
	14	期末試験	履歴書		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 *一般教養問題集を使用しテストの実施。期末試験で必ず実施。 *別途、就職研修を実施。実施日までに履歴書を書かせる。					

授業計画(シラバス)

科目名	コンテンツ制作実習 I		指導担当者名	伊東広	
実務経験	音響制作、スタジオ経営、防音工事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・音響機材セッティング/音声収録ができる ・パソコンでのオーディオデータ編集入門 ・文章作成/構成/添削/読み上げ の技術向上 ・1年生:ボイスサンプル制作 ・2年生:ボイスドラマの制作				
評価方法 評価基準	・出席率、授業態度、提出物 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	教材(適宜伊東が準備) 機材(各自PC・AVOマイク類/オーディオIFなど)				
授業外学習 の方法	オーダシティを使用した音声編集など				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	自己紹介	自己紹介・マイク～スピーカー音が出るまで		
	2	基礎	パソコン操作基礎・ソフトインストール・データ種類/作成/保存		
	3	波形編集ソフト①	PC＋オーディオIF 録音		
	4	波形編集ソフト①	PC＋オーディオIF 録音		
	5	波形編集ソフト②	オーダシティ② 波形編集・エフェクト1		
	6	波形編集ソフト②	オーダシティ② 波形編集・エフェクト1		
	7	波形編集ソフト③	オーダシティ③ 波形編集・エフェクト2、小テスト		
	8	波形編集ソフト③	オーダシティ③ 波形編集・エフェクト2、小テスト		
	9	ボイスサンプル研究	現役声優のサンプル研究、ボイスサンプル文作成		
	10	ボイスサンプル研究	現役声優のサンプル研究、ボイスサンプル文作成		
	11	ボイスサンプル研究	現役声優のサンプル研究、ボイスサンプル文作成		
	12	ボイスサンプル研究	現役声優のサンプル研究、ボイスサンプル文作成		
	13	ボイスサンプル研究	現役声優のサンプル研究、ボイスサンプル文作成		
	14	期末試験			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	コンテンツ制作実習Ⅰ		指導担当者名	伊東広	
実務経験	音響制作、スタジオ経営、防音工事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・音響機材セッティング/音声収録ができる ・パソコンでのオーディオデータ編集入門 ・文章作成/構成/添削/読み上げの技術向上 ・1年生:ボイスサンプル制作 ・2年生:ボイスドラマの制作				
評価方法 評価基準	・出席率、授業態度、提出物 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	教材(適宜伊東が準備) 機材(各自PC・AVOマイク類/オーディオIFなど)				
授業外学習の方法	オーダシティを使用した音声編集など				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	期末試験振り返り	オーディション用ボイスサンプル制作		
	2	音響制作	舞台音響制作体験		
	3	音響制作	舞台音響制作体験		
	4	作品制作①	ボイスラジオドラマ制作 企画		
	5	作品制作②	ボイスラジオドラマ制作 企画		
	6	作品制作③	ボイスラジオドラマ制作 企画		
	7	作品制作④	ボイスラジオドラマ制作 台本読み		
	8	作品制作⑤	ボイスラジオドラマ制作 収録		
	9	作品制作⑥	ボイスラジオドラマ制作 収録		
	10	作品制作⑦	ボイスラジオドラマ制作 収録		
	11	作品制作⑧	ボイスラジオドラマ制作 音声編集		
	12	作品制作⑨	ボイスラジオドラマ制作 音声編集		
	13	期末試験	ボイスラジオドラマ制作 完パケ作成		
	14	期末試験振り返り	ボイスラジオドラマ制作 完パケ作成		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	朗読・読解演習Ⅰ		指導担当者名	ちば えみ	
実務経験	MC・ナレーター、日本俳優連合会組合員			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	朗読に必要な発声発音の習得、外郎売を覚える				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・積極性・表現力 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	・教科書・朗読台本				
授業外学習 の方法					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の流れ、模擬オーディション		
	2	発声・発音の基礎①	声の出る仕組みについて、良い声の定義		
	3	発声発音の基礎②	呼吸について学ぶ		
	4	発声発音の基礎③	正しい姿勢、発声を学ぶ		
	5	声の表現①	アクセント		
	6	声の表現②	イントネーション		
	7	声の表現③	プロミネンス		
	8	声の表現④	リズム		
	9	声の表現⑤	ポーズ		
	10	声の表現⑥	フレージング		
	11	声の表現⑦	アーティキュレーション		
	12	外郎売①	外郎売について知る		
	13	外郎売②	外郎売の練習		
	14	期末試験	外郎売の表現		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	朗読・読解演習Ⅰ		指導担当者名	ちば えみ	
実務経験	MC・ナレーター、日本俳優連合会組合員			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	朗読に必要な発声発音の習得、外郎壳を覚える				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・積極性・表現力 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	・教科書・朗読台本				
授業外学習 の方法					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	期末試験振り返り	詩の朗読①		
	2	作品朗読②	詩の朗読②		
	3	作品朗読③	詩の朗読③		
	4	作品朗読④	短歌・俳句の朗読①		
	5	作品朗読④	短歌俳句の朗読②		
	6	作品朗読⑤	古典の朗読①		
	7	作品朗読⑥	古典の朗読②		
	8	作品朗読⑦	名作の朗読①		
	9	作品朗読⑧	名作の朗読②		
	10	作品朗読⑨	名作の朗読③		
	11	作品朗読⑩	名作の朗読④		
	12	期末試験	名作の朗読⑤		
	13	作品朗読⑪	朗読実技試験練習		
	14	期末試験振り返り	朗読実技試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ダンス実習		指導担当者名	藤原 悦子	
実務経験	ダンススタジオ経営、ダンスインストラクター			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	体力の強化 柔軟性の強化 リズム感覚を養う				
評価方法 評価基準	・作品完成度 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 など 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	動きやすい服装、タオル、飲料				
授業外学習の方法	柔軟、筋トレなどの軽いトレーニング、ステップの確認等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、授業の進行について説明		
	2	柔軟、筋トレ、パーレッスン①	ダンスの基礎である柔軟性や筋力トレーニングのやり方を覚える		
	3	柔軟、筋トレ、パーレッスン②	ダンスの基礎である柔軟性や筋力トレーニングのやり方を覚える		
	4	柔軟、筋トレ、パーレッスン③	ダンスの基礎である柔軟性や筋力トレーニングのやり方を覚える		
	5	柔軟、筋トレ、パーレッスン④	ダンスの基礎である柔軟性や筋力トレーニングのやり方を覚える		
	6	様々なダンスジャンル①	ヒップホップについて知る		
	7	様々なダンスジャンル②	ビバップ、ブレイク、ロック、ポップについて知る		
	8	様々なダンスジャンル③	ダブステップ、フレキシング、レゲエについて知る		
	9	様々なダンスジャンル④	バレエ、ジャズ、タップダンスについて知る		
	10	様々なダンスジャンル⑤	フラメンコ、フラダンス、社交ダンスについて知る		
	11	様々なダンスジャンル⑥	タンゴ、ベリーダンスについて知る		
	12	期末試験課題	期末試験課題の提示、練習		
	13	前期期末試験	ダンス実習 実技試験		
	14	期末試験振り返り			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ダンス実習		指導担当者名	藤原 悦子	
実務経験	ダンススタジオ経営、ダンスインストラクター			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	体力の強化 柔軟性の強化 リズム感覚を養う				
評価方法 評価基準	・作品完成度 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 など 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	動きやすい服装、タオル、飲料				
授業外学習の方法	柔軟、筋トレなどの軽いトレーニング、ステップの確認等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	前期振り返り	前期の振り返りを行う		
	2	振り付け①	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	3	振り付け②	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	4	振り付け③	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	5	振り付け④	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	6	振り付け⑤	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	7	中間発表	振り付けの中間確認を行う・フィードバック		
	8	振り付け⑥	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	9	振り付け⑦	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	10	振り付け⑧	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	11	振り付け⑨	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	12	振り付け⑩	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	13	期末試験	ダンス実習 実技試験		
	14	ダンス発表	ダンス発表会		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング実習		指導担当者名	難波恭介	
実務経験	舞台監督、舞台役者の経験者			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	正しい発声に必要な身体能力・筋力の向上、柔軟な身体の維持				
評価方法 評価基準	実技試験、授業態度、出席率による評価				
使用教材	動きやすい服装、ヨガマット				
授業外学習 の方法	ストレッチ、筋トレの実施				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、授業の進行について説明		
	2	ストレッチ 筋トレ①	正しいストレッチと筋トレのやり方を覚える		
	3	ストレッチ 筋トレ②	正しいストレッチと筋トレのやり方を覚える		
	4	ストレッチ 筋トレ③	正しいストレッチと筋トレのやり方を覚える		
	5	プランクトレーニング①	体幹を鍛えるプランクトレーニングについて学ぶ		
	6	プランクトレーニング②	体幹を鍛えるプランクトレーニングについて学ぶ		
	7	プランクトレーニング③	体幹を鍛えるプランクトレーニングについて学ぶ		
	8	リズムトレーニング①	リズム感を養うリズムトレーニング		
	9	リズムトレーニング②	リズム感を養うリズムトレーニング		
	10	リズムトレーニング③	リズム感を養うリズムトレーニング		
	11	体づくり①	効果的な体づくりについて学ぶ		
	12	体づくり②	効果的な体づくりについて学ぶ		
	13	体づくり③	効果的な体づくりについて学ぶ		
	14	期末試験	トレーニング実習 期末試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング実習		指導担当者名	難波恭介	
実務経験	舞台監督、舞台役者の経験者			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	正しい発声に必要な身体能力・筋力の向上、柔軟な身体の維持				
評価方法 評価基準	実技試験、授業態度、出席率による評価				
使用教材	動きやすい服装、ヨガマット				
授業外学習 の方法	ストレッチ、筋トレの実施				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	期末試験振り返り	期末試験振り返り		
	2	確認テスト メソッド⑫	前期の確認		
	3	筋肉トレーニング①	有酸素運動・無酸素運動について学ぶ		
	4	筋肉トレーニング②	#REF!		
	5	筋肉トレーニング③	基礎代謝を上げる筋肉トレーニングについて学ぶ		
	6	筋肉トレーニング④	基礎代謝を上げる筋肉トレーニングについて学ぶ		
	7	筋肉トレーニング⑤	発声に必要な筋肉トレーニングを学ぶ		
	8	筋肉トレーニング⑥	発声に必要な筋肉トレーニングを学ぶ		
	9	筋肉トレーニング⑦	発声に必要な筋肉トレーニングを学ぶ		
	10	筋肉トレーニング⑧	発声に必要な筋肉トレーニングを学ぶ		
	11	筋肉トレーニング⑨	自分にあう筋肉トレーニングメニューの作成		
	12	筋肉トレーニング⑩	自分にあう筋肉トレーニングメニューの実践		
	13	期末試験	筋力・体力テスト		
	14	期末試験振り返り	期末試験振り返り		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	コミュニケーション概論		指導担当者名	矢田部 翔子	
実務経験					実務経験:
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	サーティファイ コミュニケーション検定初級の取得、ロールプレイングを通してコミュニケーション力の向上を目指す。				
評価方法 評価基準	筆記試験、出席率、課題提出による評価を行う 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	コミュニケーション検定初級 テキスト				
授業外学習の方法	テキストを使用し、過去問題を回答する				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、授業の進行について説明		
	2	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	1－1コミュニケーションを考える		
	3	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	2－1目的に即して働く		
	4	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	2－2傾聴・質問する		
	5	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－1目的を意識する		
	6	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－1目的を意識する		
	7	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－2話を組み立てる		
	8	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－2話を組み立てる		
	9	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－3言葉を選び抜く		
	10	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－3言葉を選び抜く		
	11	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－4表現伝達する		
	12	前期期末テスト	0		
	13	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	まとめ・復習		
	14	期末試験	1－1来客応対		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	コミュニケーション概論		指導担当者名	矢田部 翔子	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	サーティファイ コミュニケーション検定初級の取得、ロールプレイングを通してコミュニケーション力の向上を目指す。				
評価方法 評価基準	筆記試験、出席率、課題提出による評価を行う 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	コミュニケーション検定初級 テキスト				
授業外学習の方法	テキストを使用し、過去問題を回答する				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	期末試験振り返り	1－2電話応対		
	2	コミュニケーションプラクティス(実践)	1－3アポイントメント・訪問・挨拶		
	3	コミュニケーションプラクティス(実践)	1－4情報共有の重要性		
	4	コミュニケーションプラクティス(実践)	1－4情報共有の重要性		
	5	コミュニケーションプラクティス(実践)	1－5チームコミュニケーション		
	6	コミュニケーションプラクティス(実践)	2－1接客営業		
	7	コミュニケーションプラクティス(実践)	2－2クレーム対応		
	8	コミュニケーションプラクティス(実践)	2－3会議・取材・ヒアリング		
	9	コミュニケーションプラクティス(実践)	2－4面接		
	10	コミュニケーションプラクティス(実践)	2－4面接		
	11	検定対策	本番の検定に向けて振り返り		
	12	検定対策	本番の検定に向けて振り返り		
	13	期末試験	本番の検定に向けて振り返り		
	14	期末試験振り返り	検定実施		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ナレーション演習 I		指導担当者名	宗方和子	
実務経験	MC・ナレーター、アナウンサー、日本俳優連合会組合員			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	ナレーションにおける正しい発音、滑舌、基礎知識を学ぶ				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・実技試験 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	ナレーション教本、美文朗読、台本				
授業外学習 の方法	ナレーション原稿作成、原稿読み等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の流れ、模擬オーディション		
	2	五十音の発音①	あ行、か行、が行、鼻濁音の発音		
	3	五十音の発音②	さ行、ざ行、た行、だ行の発音		
	4	五十音の発音③	な行、は行、ば行、鼻濁音		
	5	五十音の発音④	ま行、や行、ら行、わ行、んの発音		
	6	滑舌発音チェック	五十音の発音チェック		
	7	CMナレーション①	食品、スポーツ用品、化粧品のナレーション		
	8	CMナレーション②	自動車、ゲーム、旅行プランのナレーション		
	9	CMナレーション③	住宅展示場、運送会社、アミューズメントパークのナレーション		
	10	映画・番組予告ナレーション①	ラブコメ、ホラー、サスペンス		
	11	映画・番組予告ナレーション②	ヒューマンドラマ、アニメ、バラエティナレーション		
	12	映画・番組予告ナレーション③	音楽番組、ドキュメンタリー、新ドラマ、ニュース番組ナレーション		
	13	前期ナレーション復習	ナレーションの基礎復習		
	14	期末試験	ナレーション実技試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ナレーション演習Ⅰ		指導担当者名	宗方和子	
実務経験	MC・ナレーター、アナウンサー、日本俳優連合会組合員			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	ナレーションにおける正しい発音、滑舌、基礎知識を学ぶ				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・実技試験 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	ナレーション教本、美文朗読、台本				
授業外学習の方法	ナレーション原稿作成、原稿読み等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	期末試験振り返り	企業紹介、店舗紹介、施設紹介、通信販売番組のナレーション		
	2	紹介・説明ナレーション②	セミナー紹介、マナー講座、学校授業教材のナレーション		
	3	案内ナレーション①	店内・店舗アナウンス		
	4	案内ナレーション②	劇場内アナウンス、影ナレ		
	5	案内ナレーション③	電話応答アナウンス		
	6	案内ナレーション④	交通機関のアナウンス		
	7	案内ナレーション⑤	美術館・博物館の音声ガイド、イベントの広報アナウンス		
	8	様々なナレーション①	施設アトラクション、選挙広報アナウンス		
	9	様々なナレーション②	株主総会、幼児向け学習教材のナレーション		
	10	様々なナレーション③	アンケートの音声ガイド		
	11	様々なナレーション④	冠婚葬祭のナレーション①		
	12	期末試験	冠婚葬祭のナレーション②		
	13	様々なナレーション⑤	ナレーション実技試験		
	14	期末試験振り返り	0		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	演技表現実習 I		指導担当者名	ちばえみ/難波恭介	
実務経験	MC・ナレーター、日本俳優連合会組合員			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	演技表現の基礎を学ぶ				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・積極性・表現力 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	台本				
授業外学習 の方法	台本読み、役作りなど				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の流れ、模擬オーディション		
	2	演技とは何か？	演技の基礎知識		
	3	実践トレーニング①	演劇における声の出し方、基礎トレーニング①		
	4	実践トレーニング②	演劇における声の出し方、基礎トレーニング②		
	5	実践トレーニング③	演劇における立ち振る舞い①		
	6	実践トレーニング④	演劇における立ち振る舞い②		
	7	実践トレーニング⑤	エチュード①		
	8	実践トレーニング⑥	エチュード②		
	9	実践トレーニング⑦	感情表現「喜」		
	10	実践トレーニング⑦	感情表現「怒」		
	11	実践トレーニング⑧	感情表現「哀」		
	12	実践トレーニング⑨	感情表現「楽」		
	13	実践トレーニング⑩	感情表現 即興劇		
	14	期末試験	演技表現実技試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	演技表現実習 I		指導担当者名	ちばえみ/難波恭介	
実務経験	MC・ナレーター、日本俳優連合会組合員			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	演技表現の基礎を学ぶ				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・積極性・表現力 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	台本				
授業外学習 の方法	台本読み、役作りなど				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	期末試験振り返り	キャスト別台本読み①		
	2	舞台稽古	キャスト別台本読み②		
	3	舞台稽古	立ち稽古①		
	4	舞台稽古	立ち稽古②		
	5	舞台稽古	立ち稽古③		
	6	舞台稽古	立ち稽古④		
	7	舞台稽古	立ち稽古⑤		
	8	舞台稽古	通し稽古①		
	9	舞台稽古	通し稽古②		
	10	舞台稽古	通し稽古③		
	11	舞台稽古	リハーサル		
	12	期末試験	ゲネプロ、仕込み		
	13	舞台稽古	舞台本番		
	14	期末試験振り返り			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	制作実習 I		指導担当者名	矢田部翔子	
実務経験					実務経験:
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	ラジオ番組、ラジオドラマ、ドラマCD、動画など宣伝材料になるコンテンツを制作。 コンペへの応募、youtubeやニコニコ動画などへの投稿。 グループワークの重要性を理解する。				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	PC、音響機材、台本				
授業外学習 の方法	企画書作成、台本作成等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の流れ、模擬オーディション		
	2	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	3	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	4	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	5	制作実習	内容検討、制作進行		
	6	制作実習	内容検討、制作進行		
	7	制作実習	内容検討、制作進行		
	8	制作実習	内容検討、制作進行		
	9	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	10	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	11	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	12	制作実習	内容検討、制作進行		
	13	制作実習	内容検討、制作進行		
	14	期末試験	内容検討、制作進行		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	制作実習 I		指導担当者名	矢田部翔子	
実務経験	0				実務経験:
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	ラジオ番組、ラジオドラマ、ドラマCD、動画など宣伝材料になるコンテンツを制作。 コンペへの応募、youtubeやニコニコ動画などへの投稿。 グループワークの重要性を理解する。				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	PC、音響機材、台本				
授業外学習 の方法	企画書作成、台本作成等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	期末試験振り返り	内容検討、制作進行		
	2	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	3	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	4	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	5	制作実習	内容検討、制作進行		
	6	制作実習	内容検討、制作進行		
	7	制作実習	内容検討、制作進行		
	8	制作実習	内容検討、制作進行		
	9	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	10	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	11	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	12	期末試験	内容検討、制作進行		
	13	制作実習	内容検討、制作進行		
	14	期末試験振り返り	内容検討、制作進行		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	PC実習		指導担当者名	矢田部翔子	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	パソコンの基本的な操作方法を習得し、簡単な文書作成やネットリテラシーについて学ぶ				
評価方法 評価基準	出席率、提出物により評価する 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	PC				
授業外学習 の方法	授業内で提示された課題の自宅学習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、授業の進行について説明		
	2	PCの基本操作	基本操作①		
	3	PCの基本操作	基本操作② 文字入力系		
	4	PCの基本操作	基本操作③		
	5	PCの基本操作	ショートカットキーチェックテスト、プリンターの設定		
	6	PCの基本操作	プリンターの使い方、ドライバーについて、印刷する		
	7	PCの基本操作	Word-ビジネス文書作成(送付状)		
	8	PCの基本操作	Word-ビジネス文書作成		
	9	PCの基本操作	Excel-表の作成		
	10	PCの基本操作	Excel-イベント企画書の作成		
	11	PCの基本操作	PowerPoint-プレゼン資料の作成		
	12	前期期末試験	PowerPoint-プレゼン資料の作成		
	13	プロフィールシートの作成	オーディション用プロフィールシートの作成をする		
	14	期末試験	PC実習期末課題		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	PC実習		指導担当者名	矢田部翔子	
実務経験					実務経験:
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	パソコンの基本的な操作方法を習得し、簡単な文書作成やネットリテラシーについて学ぶ				
評価方法 評価基準	出席率、提出物により評価する 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	PC				
授業外学習 の方法	授業内で提示された課題の自宅学習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	プロフィールシートの作成	オーディション用プロフィールシートの完成		
	2	ファイル・拡張子関連	容量の単位、拡張子、CSV、PDF		
	3	ボイスサンプルCDの作成	ボイスサンプルなどの音源をCDに焼く		
	4	ボイスサンプルCDの作成	CDジャケットの作成		
	5	ISOファイルの書き込み・ライティング	ISOファイルの書き込み・ライティング		
	6	圧縮と解凍	圧縮と解凍		
	7	写真・画像の編集	写真・画像の編集		
	8	動画の作成・編集	動画の作成・編集		
	9	応用操作	タスクマネージャ、システムの復元について		
	10	応用操作	ディスクの管理、フォーマット関係		
	11	ネットリテラシー	ネットリテラシーについて		
	12	ネットリテラシー	ネットリテラシーについて		
	13	期末試験	ネットリテラシーについて		
	14	期末試験振り返り	後期期末試験の振り返り		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	オーディション演習 I		指導担当者名	橋本 亮汰	
実務経験	声優事務所所属、ボイストレーナー、声優としてアニメ出演等			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	オーディションの基礎知識、声優業界の基礎知識について学び習得する				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・積極性 ・滑舌 ・表現 など 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	マイク、プロジェクター、台本、PC、筆記用具				
授業外学習 の方法	台本読み、キャラ作り等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての説明、自己紹介		
	2	業界研究①	声優のなりたちについて学ぶ		
	3	業界研究②	現在の声優業界について学ぶ		
	4	業界研究③	声優養成所、専門学校、声優事務所、劇団について		
	5	業界研究④	養成所入所オーディション、事務所所属オーディション、その他オーディションについて		
	6	オーディション演習①	オーディション用紙の仕組みを知る		
	7	オーディション演習②	オーディション用紙の記入をする		
	8	オーディション演習③	宣材写真について		
	9	オーディション演習④	宣材写真の撮影		
	10	オーディション演習⑤	オーディション用紙完成		
	11	オーディション演習⑥	模擬オーディション		
	12	オーディション対策	業界を学ぶ①		
	13	オーディション対策	業界を学ぶ②		
	14	期末試験			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	オーディション演習 I		指導担当者名	橋本 亮汰	
実務経験	声優事務所所属、ボイストレーナー、声優としてアニメ出演等			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	オーディションの基礎知識、声優業界の基礎知識について学び習得する				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・積極性 ・滑舌 ・表現 など 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	マイク、プロジェクター、台本、PC、筆記用具				
授業外学習 の方法	台本読み、キャラ作り等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	期末試験振り返り	オーディションを意識した自己紹介。		
	2	滑舌訓練	映画予告の原稿を用いての訓練。		
	3	滑舌訓練	映画予告の原稿を用いての訓練。		
	4	自己プロデュース①	自己PRについて		
	5	自己プロデュース②	声優オーディションにおける自己PRを学ぶ		
	6	自己プロデュース③	ファッション、メイク、宣材写真		
	7	自己プロデュース④	ファッション、メイク、宣材写真		
	8	自己プロデュース⑤	ファッション、メイク、宣材写真		
	9	自己プロデュース⑥	演技分けを学ぶ①		
	10	自己プロデュース⑦	演技分けを学ぶ②		
	11	自己プロデュース⑧	演技分けを学ぶ③		
	12	自己プロデュース⑨	演技分けを学ぶ④		
	13	期末試験	まとめ		
	14	期末試験振り返り	模擬オーディション		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名		修了制作		指導担当者名		学科担任名		
実務経験							実務経験:	
開講時期		後期		対象学科学年		アニメ声優科 1年		
授業方法		講義:		演習:		実習:○		実技:
時間数		180時間		週時間数		6週/180時間		
学習到達目標		・学科で学んだ内容を活かした作品制作 ・テーマを掲げ対象者を意識した作品制作 ・自らの作品をアピールするプレゼンテーションが出来る						
評価方法 評価基準		・修了生:それぞれの学科の規定により定められた以上の分量、質で1年間の集大成となる作品制作をすること また、学科内で行われるプレゼンテーションにて完成品を発表し、卒業修了制作展で作品展示をすること 評価項目「作品の量」「作品の質」「完成度の高さ」「企画の質」「プレゼン能力」						
使用教材		それぞれの学科制作毎の規定に沿った画材、教材を使用する事						
授業外学習の方法		制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事						
学期	ターム (週)	項 目			内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	作品制作開始			事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる			
	2	作品制作2			個別添削を行いながら制作を進めていく			
	3	作品制作3			中間発表を行い、プレゼンテーション準備と展示企画についても			
					可視化していく			
	4	学科内プレゼンテーション			学科内でプレゼンテーションを実施			
					学科担任、学科非常勤講師、学科内学生全てでプレゼンテーションを聞く			
					・制作のポイント ・展示計画 ・プレゼン能力 ・資料の見やすさ など			
	5	発表を受けての修正と展示準備			各教室での展示計画と準備、			
					また、プレゼンテーションで受けた指摘の修正と追加制作			
	6	卒業・修了制作展			展示計画の基づき展示をし、外部の一般来場者を入れての作品発表を実施			
					・学科内の作品の見どころの紹介 ・一般来場者の対応			
					*学科内シフトにより登校			
					展示終了後は撤収と作品保管をする			
履修上の留意点								
・出席率が80%に満たない場合は、発表機会を与えない ・プレゼンテーションにて不合格だった場合、修正し、翌週期限を設け再プレゼンを実施 そこで一定の評価があれば合格とする ・再プレゼンで不合格の場合認定となる								

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング実習		指導担当者名	難波恭介	
実務経験	舞台監督、舞台役者の経験者			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	正しい発声に必要な身体能力・筋力の向上、柔軟な身体の維持				
評価方法 評価基準	実技試験、出席率による評価				
使用教材	動きやすい服装、ヨガマット				
授業外学習の方法	ストレッチ、筋トレの実施				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、授業の進行について説明		
	2	ストレッチ 筋トレ①	正しいストレッチと筋トレのやり方を覚える		
	3	ストレッチ 筋トレ②	正しいストレッチと筋トレのやり方を覚える		
	4	ストレッチ 筋トレ③	正しいストレッチと筋トレのやり方を覚える		
	5	プランクトレーニング①	体幹を鍛えるプランクトレーニングについて学ぶ		
	6	プランクトレーニング②	体幹を鍛えるプランクトレーニングについて学ぶ		
	7	プランクトレーニング③	体幹を鍛えるプランクトレーニングについて学ぶ		
	8	リズムトレーニング①	リズム感を養うリズムトレーニング		
	9	リズムトレーニング②	リズム感を養うリズムトレーニング		
	10	リズムトレーニング③	リズム感を養うリズムトレーニング		
	11	体カづくり①	効果的な体カづくりについて学ぶ		
	12	体カづくり②	効果的な体カづくりについて学ぶ		
	13	体カづくり③	効果的な体カづくりについて学ぶ		
	14	期末試験	トレーニング実習 期末試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング実習		指導担当者名	難波恭介	
実務経験	舞台監督、舞台役者の経験者			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科・学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	正しい発声に必要な身体能力・筋力の向上、柔軟な身体の維持				
評価方法 評価基準	実技試験、出席率による評価				
使用教材	動きやすい服装、ヨガマット				
授業外学習 の方法	ストレッチ、筋トレの実施				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	期末試験振り返り	期末試験振り返り		
	2	確認テスト メソッド⑫	前期の確認		
	3	筋肉トレーニング①	有酸素運動・無酸素運動について学ぶ		
	4	筋肉トレーニング②	有酸素運動・無酸素運動について学ぶ		
	5	筋肉トレーニング③	基礎代謝を上げる筋肉トレーニングについて学ぶ		
	6	筋肉トレーニング④	基礎代謝を上げる筋肉トレーニングについて学ぶ		
	7	筋肉トレーニング⑤	発声に必要な筋肉トレーニングを学ぶ		
	8	筋肉トレーニング⑥	発声に必要な筋肉トレーニングを学ぶ		
	9	筋肉トレーニング⑦	発声に必要な筋肉トレーニングを学ぶ		
	10	筋肉トレーニング⑧	発声に必要な筋肉トレーニングを学ぶ		
	11	筋肉トレーニング⑨	自分にあう筋肉トレーニングメニューの作成		
	12	筋肉トレーニング⑩	自分にあう筋肉トレーニングメニューの実践		
	13	期末試験	筋力・体力テスト		
	14	期末試験振り返り	期末試験振り返り		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務Ⅱ		指導担当者名	矢田部 翔子
実務経験				実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年		アニメ声優科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動指導をし就職できる力をつける事を目標とする。 * 学生の進路にあわせて指導(プロ志望、業界志望、一般志望)			
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・履歴書、作文提出 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	教科書(SUCCESS)			
授業外学習の方法	自主的な就職活動			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	1年次の確認	履歴書、入退室の確認	
	2	受験後の報告	P90～93 受験後の報告と内定後の生活、不合格した場合の振り返り	
	3	就職試験のマナー	P66～89 面接、試験時の確認	
	4	巻末資料確認	P39～45 P94～ ビジネス文章の書き方、メール	
	5	履歴書確認 1	全体の書き方の見直し	
	6	履歴書確認 2	自己PRの見直し	
	7	履歴書確認 3	志望動機の見直し	
	8	筆記試験対策 1	P82～89 各種適性検査、一般常識、作文	
	9	筆記試験対策 2	P82～89 各種適性検査、一般常識、作文	
	10	筆記試験対策 3	P82～89 各種適性検査、一般常識、作文	
	11	個別指導	履歴書作成、個別指導	
	12	個別指導	履歴書作成、個別指導	
	13	個別指導	履歴書作成、個別指導	
	14	期末試験		
	15			
	16			
履修上の留意点 *一般教養問題集を使用しテストの実施。期末試験で必ず実施。 *別途、就職研修を実施。実施日までに履歴書を書かせる。				

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務Ⅱ		指導担当者名	矢田部 翔子
実務経験				実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年		アニメ声優科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動指導をし就職できる力をつける事を目標とする。 * 学生の進路にあわせて指導(プロ志望、業界志望、一般志望)			
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・履歴書、作文提出 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	教科書(SUCCESS)			
授業外学習の方法	自主的な就職活動			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	前期の確認	履歴書、入退室の確認	
	2	受験後の報告	P90~93 受験後の報告と内定後の生活、不合格した場合の振り返り	
	3	就職試験のマナー	P66~89 面接、試験時の確認	
	4	巻末資料確認	P39~45 P94~ ビジネス文章の書き方、メール	
	5	履歴書確認 1	全体の書き方の見直し	
	6	履歴書確認 2	自己PRの見直し	
	7	履歴書確認 3	志望動機の見直し	
	8	筆記試験対策 1	P82~89 各種適性検査、一般常識、作文	
	9	筆記試験対策 2	P82~89 各種適性検査、一般常識、作文	
	10	筆記試験対策 3	P82~89 各種適性検査、一般常識、作文	
	11	個別指導	個人の状況に合わせて指導	
	12	個別指導	個人の状況に合わせて指導	
	13	個別指導	個人の状況に合わせて指導	
	14	期末試験	作文「卒業後の進路と抱負」800字程度で	
	15			
	16			
履修上の留意点				
*一般教養問題集を使用しテストの実施。期末試験で必ず実施。				
*別途、就職研修を実施。実施日までに履歴書を書かせる。				

授業計画(シラバス)

科目名	コンテンツ制作実習Ⅱ		指導担当者名	伊東広	
実務経験	音響制作、スタジオ経営者			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・音響機材セッティング/音声収録ができる ・パソコンでのオーディオデータ編集入門 ・文章作成/構成/添削/読み上げの技術向上 ・1年生:ボイスサンプル制作 ・2年生:ボイスドラマの制作				
評価方法 評価基準	・出席率、授業態度、提出物 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	教材(適宜伊東が準備) 機材(各自PC・AVOマイク類/オーディオIFなど)				
授業外学習の方法	オーダシティを使用した音声編集など				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	自己紹介	自己紹介・マイク～スピーカー音が出るまで		
	2	基礎	パソコン操作基礎・ソフトインストール・データ種類/作成/保存		
	3	波形編集ソフト①	PC＋オーディオIF 録音		
	4	波形編集ソフト①	PC＋オーディオIF 録音		
	5	波形編集ソフト②	オーダシティ② 波形編集・エフェクト1		
	6	波形編集ソフト②	オーダシティ② 波形編集・エフェクト1		
	7	波形編集ソフト③	オーダシティ③ 波形編集・エフェクト2、小テスト		
	8	波形編集ソフト③	オーダシティ③ 波形編集・エフェクト2、小テスト		
	9	ボイスサンプル研究	現役声優のサンプル研究、ボイスサンプル文作成		
	10	ボイスサンプル研究	現役声優のサンプル研究、ボイスサンプル文作成		
	11	ボイスサンプル研究	現役声優のサンプル研究、ボイスサンプル文作成		
	12	ボイスサンプル研究	現役声優のサンプル研究、ボイスサンプル文作成		
	13	ボイスサンプル研究	現役声優のサンプル研究、ボイスサンプル文作成		
	14	期末試験			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	コンテンツ制作実習Ⅱ		指導担当者名	伊東広	
実務経験	音響制作、スタジオ経営者			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・音響機材セッティング/音声収録ができる ・パソコンでのオーディオデータ編集入門 ・文章作成/構成/添削/読み上げの技術向上 ・1年生:ボイスサンプル制作 ・2年生:ボイスドラマの制作				
評価方法 評価基準	・出席率、授業態度、提出物 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	教材(適宜伊東が準備) 機材(各自PC・AVOマイク類/オーディオIFなど)				
授業外学習の方法	オーダシティを使用した音声編集など				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	期末試験振り返り	オーディション用ボイスサンプル制作		
	2	音響制作	舞台音響制作体験		
	3	音響制作	舞台音響制作体験		
	4	作品制作①	ボイスラジオドラマ制作 企画		
	5	作品制作②	ボイスラジオドラマ制作 企画		
	6	作品制作③	ボイスラジオドラマ制作 台本制作・キャスティング		
	7	作品制作④	ボイスラジオドラマ制作 台本制作・キャスティング		
	8	作品制作⑤	ボイスラジオドラマ制作 収録・BGMや効果音の選出		
	9	作品制作⑥	ボイスラジオドラマ制作 収録・BGMや効果音の選出		
	10	作品制作⑦	ボイスラジオドラマ制作 収録・BGMや効果音の選出		
	11	作品制作⑧	ボイスラジオドラマ制作 編集作業		
	12	作品制作⑨	ボイスラジオドラマ制作 編集作業		
	13	期末試験	ボイスドラマ完パケ		
	14	期末試験振り返り	ボイスドラマ 作品発表		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	アフレコ実習Ⅱ		指導担当者名	ちばえみ/難波恭介	
実務経験	MC・ナレーター、日本俳優連合会組合員			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	アフレコ表現を学ぶ アフレコをするための基礎を身に付ける				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・積極性・表現力 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	台本				
授業外学習 の方法	台本読み、役作りなど				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の流れ、模擬オーディション		
	2	演技とは何か？	演技の基礎知識		
	3	実践トレーニング①	演劇における声の出し方、基礎トレーニング①		
	4	実践トレーニング②	演劇における声の出し方、基礎トレーニング②		
	5	実践トレーニング③	演劇における立ち振る舞い①		
	6	実践トレーニング④	演劇における立ち振る舞い②		
	7	実践トレーニング⑤	エチュード①		
	8	実践トレーニング⑥	エチュード②		
	9	実践トレーニング⑦	感情表現「喜」		
	10	実践トレーニング⑦	感情表現「怒」		
	11	実践トレーニング⑧	感情表現「哀」		
	12	実践トレーニング⑨	感情表現「楽」		
	13	実践トレーニング⑩	感情表現 即興劇		
	14	期末試験	演技表現実技試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	アフレコ実習Ⅱ		指導担当者名	ちばえみ/難波恭介	
実務経験	MC・ナレーター、日本俳優連合会組合員			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	アフレコ表現を学ぶ アフレコをするための基礎を身に付ける				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・積極性・表現力 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	台本				
授業外学習 の方法	台本読み、役作りなど				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	期末試験振り返り	キャスト別台本読み①		
	2	アフレコ稽古	作品通し稽古Ⅰ①		
	3	アフレコ稽古	作品通し稽古Ⅰ②		
	4	アフレコ稽古	作品通し稽古Ⅰ③		
	5	アフレコ稽古	作品通し稽古Ⅱ①		
	6	アフレコ稽古	作品通し稽古Ⅱ②		
	7	アフレコ稽古	作品通し稽古Ⅱ③		
	8	アフレコ稽古	作品通し稽古Ⅲ①		
	9	アフレコ稽古	作品通し稽古Ⅲ②		
	10	アフレコ稽古	最終課題作品通し稽古Ⅳ①		
	11	アフレコ稽古	最終課題作品通し稽古Ⅳ②		
	12	期末試験	最終課題作品通し稽古Ⅳ③		
	13	アフレコ稽古	最終課題作品通し稽古Ⅳ④		
	14	期末試験振り返り	振り返り		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ダンス実習		指導担当者名	藤原 悦子	
実務経験	ダンススタジオ経営、ダンスインストラクター			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	体力の強化 柔軟性の強化 リズム感覚を養う				
評価方法 評価基準	・作品完成度 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 など 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	動きやすい服装、タオル、飲料				
授業外学習の方法	柔軟、筋トレなどの軽いトレーニング、ステップの確認等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、授業の進行について説明		
	2	柔軟、筋トレ、パーレッスン①	ダンスの基礎である柔軟性や筋力トレーニングのやり方を覚える		
	3	柔軟、筋トレ、パーレッスン②	ダンスの基礎である柔軟性や筋力トレーニングのやり方を覚える		
	4	柔軟、筋トレ、パーレッスン③	ダンスの基礎である柔軟性や筋力トレーニングのやり方を覚える		
	5	柔軟、筋トレ、パーレッスン④	ダンスの基礎である柔軟性や筋力トレーニングのやり方を覚える		
	6	様々なダンスジャンル①	ヒップホップについて知る		
	7	様々なダンスジャンル②	ビバップ、ブレイク、ロック、ポップについて知る		
	8	様々なダンスジャンル③	ダブステップ、フレキシング、レゲエについて知る		
	9	様々なダンスジャンル④	バレエ、ジャズ、タップダンスについて知る		
	10	様々なダンスジャンル⑤	フラメンコ、フラダンス、社交ダンスについて知る		
	11	様々なダンスジャンル⑥	タンゴ、ベリーダンスについて知る		
	12	期末試験課題	期末試験課題の提示、練習		
	13	前期期末試験	ダンス実習 実技試験		
	14	期末試験振り返り			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ダンス実習		指導担当者名	藤原 悦子	
実務経験	ダンススタジオ経営、ダンスインストラクター			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	体力の強化 柔軟性の強化 リズム感覚を養う				
評価方法 評価基準	・作品完成度 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 など 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	動きやすい服装、タオル、飲料				
授業外学習の方法	柔軟、筋トレなどの軽いトレーニング、ステップの確認等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	前期振り返り	前期の振り返りを行う		
	2	振り付け①	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	3	振り付け②	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	4	振り付け③	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	5	振り付け④	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	6	振り付け⑤	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	7	中間発表	振り付けの中間確認を行う・フィードバック		
	8	振り付け⑥	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	9	振り付け⑦	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	10	振り付け⑧	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	11	振り付け⑨	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	12	振り付け⑩	ダンス発表に向けた振り付けと反復練習		
	13	期末試験	ダンス実習 実技試験		
	14	ダンス発表	ダンス発表会		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	読解演習		指導担当者名		橋本 亮汰	
実務経験	声優養成所所属、アニメ作品に出演				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:		演習:○		実習:	実技:
時間数	56時間		週時間数		2時間	
学習到達目標	・滑舌の強化 ・初見への対応力を身につける ・役作りに必要な要素を学ぶ					
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・積極性 ・滑舌 ・表現 など 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する					
使用教材	教材(適宜伊東が準備) 機材(各自PC・AVOマイク類/オーディオIFなど)					
授業外学習 の方法	台本読みなど					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション		授業の目的、使用教材についての説明、自己紹介		
	2	滑舌訓練		ナレーション原稿を用いての滑舌訓練		
	3	ボイスサンプル①		ボイスサンプルの台本を用いて表現のルールを学ぶ		
	4	ボイスサンプル②		ボイスサンプルの台本を用いて表現のルールを学ぶ。		
	5	長編アニメ台本読解①		キャラクターの心情を読み解く。活字に慣れる。		
	6	長編アニメ台本読解②		キャラクターの心情を読み解く。活字に慣れる。		
	7	長編アニメ台本読解③		キャラクターの心情を読み解く。活字に慣れる。		
	8	長編アニメ台本読解④		キャラクターの心情を読み解く。活字に慣れる。		
	9	長編アニメ台本読解⑤		キャラクターの心情を読み解く。活字に慣れる。		
	10	長編アニメ台本読解⑥		キャラクターの心情を読み解く。活字に慣れる。		
	11	長編アニメ台本読解⑦		キャラクターの心情を読み解く。活字に慣れる。		
	12	アニメ台本読解①		早口での表現を身につける。アニメ的リアクションを学ぶ。		
	13	アニメ台本読解②		早口での表現を身につける。アニメ的リアクションを学ぶ。		
	14	期末試験		読解演習期末試験		
	15					
	16					
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない						

授業計画(シラバス)

科目名	読解演習		指導担当者名	橋本 亮汰	
実務経験	声優養成所所属、アニメ作品に出演			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	・滑舌の強化 ・初見への対応力を身につける ・役作りに必要な要素を学ぶ				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・積極性 ・滑舌 ・表現 など 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	教材(適宜伊東が準備) 機材(各自PC・AVOマイク類/オーディオIFなど)				
授業外学習の方法	台本読みなど				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	期末試験振り返り	前期期末試験振り返り		
	2	アニメ台本読解④	早口での表現を身につける。アニメ的リアクションを学ぶ。		
	3	アニメ台本読解⑤	各キャラクターの個性について考え、演じ分けられるようにする。		
	4	アニメ台本読解⑥	各キャラクターの個性について考え、演じ分けられるようにする。		
	5	アニメ台本読解⑦	各キャラクターの個性について考え、演じ分けられるようにする。		
	6	ボイスサンプル③	自分の個性、武器を伸ばす。オーディション対策。		
	7	ボイスサンプル④	自分の個性、武器を伸ばす。オーディション対策。		
	8	アニメ台本読解⑧	キャラクターの心情を読み解く。活字に慣れる。		
	9	アニメ台本読解⑨	キャラクターの心情を読み解く。活字に慣れる。		
	10	アニメ台本読解⑩	キャラクターの心情を読み解く。活字に慣れる。		
	11	アニメ台本読解⑪	キャラクターの心情を読み解く。活字に慣れる。		
	12	アニメ台本読解⑫	キャラクターの心情を読み解く。培ってきた表現を最大限に利用する。		
	13	期末試験	キャラクターの心情を読み解く。培ってきた表現を最大限に利用する。		
	14	期末試験振り返り	0		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	オーディション演習Ⅱ		指導担当者名	濱尾美咲	
実務経験	司会者事務所に所属、イベントMC、CM出演など			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	オーディションの流れを知る・印象に残る自己PRができるようになる・校内オーディションに合格する				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・積極性・表現力 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	・オーディション用紙・プロフィールシート・台本				
授業外学習の方法	台本読み、オーディション用紙の記入・作成、キャラづくり等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の流れ、模擬オーディション		
	2	オーディション応募	オーディション用紙記入、ボイスサンプルの制作		
	3	オーディション応募	オーディション用紙記入、ボイスサンプルの制作		
	4	自己PR作成①	自分の人柄、キャラクター性を見極める		
	5	自己PR作成②	自分の強みを生かし、自己PRの発表		
	6	自己PR作成③	自分にタイトル・キャッチフレーズを考える		
	7	自己PR作成④	印象に残る自己PRの分析		
	8	模擬オーディション①	自己PR、セリフ読みの模擬オーディション		
	9	模擬オーディション振り返り	反省点を見つけ、改善し、次につなげる		
	10	オリエンテーション	進路確認、声優養成所・プロダクション・劇団等の研究		
	11	模擬オーディション②	自己PR、セリフ読みの模擬オーディション		
	12	前期期末試験	模擬オーディション		
	13	オーディション対策①	校内オーディションに向けてオーディション練習		
	14	期末試験			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	オーディション演習Ⅱ		指導担当者名	濱尾美咲	
実務経験	司会者事務所に所属、イベントMC、CM出演など			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	オーディションの流れを知る・印象に残る自己PRができるようになる・校内オーディションに合格する				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・積極性・表現力 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	・オーディション用紙・プロフィールシート・台本				
授業外学習 の方法	台本読み、オーディション用紙の記入・作成、キャラづくり等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	期末試験振り返り	校内オーディションの感想、反省		
	2	声優アワード対策①	応募用紙の記入、ボイスサンプルの制作		
	3	声優アワード対策②	応募用紙の記入、ボイスサンプルの制作		
	4	声優アワード対策③	応募用紙の記入、ボイスサンプルの制作		
	5	声優アワード対策④	応募用紙の記入、ボイスサンプルの制作		
	6	キャラ作り①	自分のキャラクターを作り上げる		
	7	キャラ作り②	自分の得意な役を見極める、ロールプレイング		
	8	キャラ作り③	自分の得意な役を見極める、ロールプレイング		
	9	キャラ作り④	自分の得意な役を見極める、ロールプレイング		
	10	声優基礎①	声優業界全般の基礎知識の復習		
	11	声優基礎②	声優の仕事の現場についての復習①		
	12	期末試験	声優の仕事の現場について復習②		
	13	声優基礎③	実技試験		
	14	期末試験振り返り	1年間の振り返り、新生活に向けての抱負		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	制作実習Ⅱ		指導担当者名	矢田部翔子	
実務経験					実務経験:
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	ラジオ番組、ラジオドラマ、ドラマCD、動画など宣伝材料になるコンテンツを制作。 コンペへの応募、youtubeやニコニコ動画などへの投稿。 グループワークの重要性を理解する。				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	PC、音響機材、台本				
授業外学習の方法	企画書作成、台本作成等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の流れ、模擬オーディション		
	2	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	3	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	4	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	5	制作実習	内容検討、制作進行		
	6	制作実習	内容検討、制作進行		
	7	制作実習	内容検討、制作進行		
	8	制作実習	内容検討、制作進行		
	9	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	10	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	11	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	12	制作実習	内容検討、制作進行		
	13	制作実習	内容検討、制作進行		
	14	期末試験	内容検討、制作進行		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	制作実習Ⅱ		指導担当者名	矢田部翔子	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	ラジオ番組、ラジオドラマ、ドラマCD、動画など宣伝材料になるコンテンツを制作。 コンペへの応募、youtubeやニコニコ動画などへの投稿。 グループワークの重要性を理解する。				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	PC、音響機材、台本				
授業外学習 の方法	企画書作成、台本作成等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	期末試験振り返り	内容検討、制作進行		
	2	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	3	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	4	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	5	制作実習	内容検討、制作進行		
	6	制作実習	内容検討、制作進行		
	7	制作実習	内容検討、制作進行		
	8	制作実習	内容検討、制作進行		
	9	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	10	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	11	企画、構成	班ごとに番組の方向性を決定する		
	12	期末試験	内容検討、制作進行		
	13	制作実習	内容検討、制作進行		
	14	期末試験振り返り	内容検討、制作進行		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	著作権概論		指導担当者名	矢田部翔子	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	ビジネス著作権検定BASICの取得				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・試験結果 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	ビジネス著作権検定 ベーシックテキスト				
授業外学習の方法	テキストの復習等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の流れ、模擬オーディション		
	2	試験概要説明	ビジネス著作権検定の試験概要、著作権を学習する前について		
	3	第1章 著作権とは何か	著作権とは何か		
	4	第2章 著作権で保護されるもの①	著作権で保護されるもの(1)(2)		
	5	第2章 著作権で保護されるもの②	著作権で保護されるもの(3)(4)		
	6	第2章 著作権で保護されるもの③	著作物該当性に関するその他の問題点、著作物の例示、特別な著作物		
	7	第3章 著作権は誰が持つ	著作者の定義、著作者の例外、著作者と著作権者		
	8	第4章 著作権の内容①	著作権の内容 人格権と財産権、著作者人格権(公表権、氏名表示権、同一性保持権、一身専属性)		
	9	第4章 著作権の内容②	財産権としての著作権、複製権、上映権、演奏権、上演権		
	10	第4章 著作権の内容③	公衆送信権、貸与権、譲渡権、頒布権、二次的著作物		
	11	著作権のトラブル	著作権が絡む事件・ニュースを調べる		
	12	第5章 著作権はいつまで保護される	著作権の始期、著作権の保護期間、国際的保護		
	13	著作権前期復習	前期学習内容の復習		
	14	期末試験	著作権概論 筆記試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	著作権概論		指導担当者名	矢田部翔子	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	ビジネス著作権検定BASICの取得				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・試験結果 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	ビジネス著作権検定 ベーシックテキスト				
授業外学習の方法	テキストの復習等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	期末試験振り返り	著作権の譲渡、利用許諾、契約		
	2	第7章 勝手に使える場合がある①	権利制限規定、私的使用関係①、②		
	3	第7章 勝手に使える場合がある②	付属的著作物、教育関係、図書館関係		
	4	第7章 勝手に使える場合がある③	非営利無償の上演・演奏等、貸与、引用関係		
	5	第8章 著作物を伝達する者を保護する制度①	著作隣接権とは		
	6	第8章 著作物を伝達する者を保護する制度②	著作隣接権者(実演家、レコード製作者)		
	7	第8章 著作物を伝達する者を保護する制度③	著作隣接権者(放送事業者、有線放送事業者)、著作隣接権の保護期間		
	8	第9章 勝手に使うとどうなるか①	著作権の侵害		
	9	第9章 勝手に使うとどうなるか②	みなし侵害、著作権侵害罪、民事的対策		
	10	第10章 著作権に関する制度	知的財産権、情報モラルと著作権		
	11	検定対策①	模擬問題		
	12	期末試験	模擬問題		
	13	検定対策②	模擬問題		
	14	期末試験振り返り	著作権検定の実施		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	演技表現実習Ⅱ		指導担当者名	青木芳子/難波恭介	
実務経験	MC・ナレーター、日本俳優連合会組合員			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	演劇の舞台制作全般を実践的に学び演劇舞台公演を行う				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・積極性・表現力 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	台本、舞台装置材料、衣装材料、音響機材等				
授業外学習の方法	スタッフワーク、台本読み、役作りなど				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の流れ、模擬オーディション		
	2	演劇の基礎知識①	時間・稽古・公演・役職の名称とその役割について学ぶ		
	3	演劇の基礎知識②	演劇に関わる役職の詳細を知る		
	4	演劇制作	演劇舞台における「制作」について学ぶ		
	5	演劇演出	演劇舞台における「演出」について学ぶ		
	6	演劇装置	演劇における「舞台装置」について学ぶ		
	7	音響・照明	演劇における「音響」「照明」について学ぶ		
	8	演劇台本①	台本の仕組みについて学ぶ		
	9	演劇台本②	演劇の台本を読む①		
	10	演劇台本③	演劇の台本を読む②		
	11	演劇キャストオーディション	演劇のキャストオーディション実施		
	12	演劇キャスト	役作り、台本読み		
	13	演劇キャスト	役作り、台本読み		
	14	期末試験	演技表現実技試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	演技表現実習Ⅱ		指導担当者名	青木芳子/難波恭介	
実務経験	MC・ナレーター、日本俳優連合会組合員			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	演劇の舞台制作全般を実践的に学び演劇舞台公演を行う				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・積極性・表現力 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	台本、舞台装置材料、衣装材料、音響機材等				
授業外学習 の方法	スタッフワーク、台本読み、役作りなど				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	期末試験振り返り	キャスト別台本読み①		
	2	舞台稽古	キャスト別台本読み②		
	3	舞台稽古	立ち稽古①		
	4	舞台稽古	立ち稽古②		
	5	舞台稽古	立ち稽古③		
	6	舞台稽古	立ち稽古④		
	7	舞台稽古	立ち稽古⑤		
	8	舞台稽古	通し稽古①		
	9	舞台稽古	通し稽古②		
	10	舞台稽古	通し稽古③		
	11	舞台稽古	リハーサル		
	12	期末試験	ゲネプロ、仕込み		
	13	舞台稽古	舞台本番		
	14	期末試験振り返り	舞台振り返り		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ナレーション演習 I		指導担当者名		宗方和子	
実務経験	MC・ナレーター、日本俳優連合会組合員				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		アニメ声優科2年	
授業方法	講義:	演習:○		実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間		
学習到達目標	ナレーションの基礎から上級レベルの技術の習得、イベント司会、ラジオパーソナリティーの基礎を学び実践による習得をする					
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・実技試験 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する					
使用教材	ナレーション教本、美文朗読、台本					
授業外学習 の方法	ナレーション原稿作成、原稿読み等					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション		授業の流れ、模擬オーディション		
	2	ナレーション基礎		1年時の復習、滑舌チェック		
	3	イベント司会①		イベント司会について		
	4	イベント司会②		イベント司会の仕方、イベントの進行について		
	5	イベント司会③		イベント司会の実践、検証		
	6	ナレーション①		ナレーション原稿読み、読解力確認		
	7	ナレーション②		美文朗読を読む		
	8	ナレーション③		美文朗読を読む		
	9	ナレーション④		伝わる表現、伝わらない表現、全身表現		
	10	コマーシャルナレーション①		CMナレーションの原稿を読む		
	11	長物ナレーション		長物ナレーションの原稿を読む		
	12	ナレーション⑤		ナレーション原稿を作る		
	13	ナレーション⑥		ナレーション原稿を作る②		
	14	期末試験		ナレーション実技試験		
	15					
	16					
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない						

授業計画(シラバス)

科目名	ナレーション演習 I		指導担当者名	宗方和子	
実務経験	MC・ナレーター、日本俳優連合会組合員			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	アニメ声優科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	ナレーションの基礎から上級レベルの技術の習得、イベント司会、ラジオパーソナリティーの基礎を学び実践による習得をする				
評価方法 評価基準	・出席率・課題評価・授業態度・実技試験 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	ナレーション教本、美文朗読、台本				
授業外学習の方法	ナレーション原稿作成、原稿読み等				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	期末試験振り返り	ラジオ番組の基礎		
	2	ラジオ番組②	ラジオ番組の進行の仕方		
	3	ラジオ番組②	ラジオ番組制作①		
	4	ラジオ番組④	ラジオ番組制作②		
	5	ラジオ番組⑤	ラジオ番組制作③		
	6	朗読ナレーション①	日本の名作を演じる①		
	7	朗読ナレーション②	日本の名作を演じる②		
	8	朗読ナレーション③	日本の名作を演じる③		
	9	朗読ナレーション④	日本の名作を演じる④		
	10	朗読ナレーション⑤	日本の名作を演じる⑤		
	11	朗読ナレーション⑥	日本の名作を演じる⑥		
	12	期末試験	日本の名作を演じる⑦		
	13	朗読ナレーション⑦	ナレーション実技試験		
	14	期末試験振り返り	期末試験の振り返り		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	国際デザイン研究		指導担当者名	山田直美	
実務経験				実務経験:	
開講時期	後期		対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	48時間		週時間数	7日間/48時間	
学習到達目標	・海外文化に触れ日本の文化と共にそれを尊重できる事、また、海外文化を楽しむ事が出来る事 ・学校で学んだ知識と技術を海外イベントに参加発信とアピールが出来る事 ・海外での業界事情を視察研修し、日本国内と比較してレポートにまとめる事 ・集団行動の徹底が出来る、また多くの国の人々が集まる場所で節度ある行動が出来る様になる事				
評価方法 評価基準	・準備の徹底 ・集団行動の場面での時間管理が出来たか ・研修先で積極的に自ら行動が出来たか ・国際デザイン研究のまとめレポート提出と内容				
使用教材	PC、筆記用具、カメラ、その他				
授業外学習の方法	事前準備(パスポート取得や旅行用品準備など)の徹底と、事後のレポート制作の為のまとめ				
学期	ターム (日)	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	出発~入国	成田空港利用、国際線でのマナー徹底		
			国外への出入国手続き、海外入国後ホテル宿泊		
	2	海外滞在1日目:イベント準備など	海外イベント参加に向けた出展準備		
			その後、自由行動と集団での国内研修		
	3	滞在2~4日目:A,B,C班に分かれて行動	A: イベント出展当番~国内集団研修~自由行動		
	4	*A~C班に分かれ	B: 国内集団研修~自由行動~イベント出展当番		
	5	3つの旅程をローテーションする	C: 自由行動~イベント出展当番~国内集団研修		
	6	滞在5日目(最終日)	全員でイベント出展の後片付け、その後集団での国内研修		
	7	帰国~到着	現地空港から成田に到着後、学校へ戻りその後解散		
			成田空港利用、国際線でのマナー徹底、日本帰国手続き		
	履修上の留意点				
・国際デザイン研究に何らかの理由で不参加の場合には認定試験を受験することとする。 ・また、国際デザイン研究行程期間も学校へ登校し、それぞれ決められた課題の作成と提出を義務づける。 ・参加者については国際デザイン研究終了後、決められた期間までにレポートを提出する事					

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作		指導担当者名	学科担任名
実務経験				実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	アニメ声優科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	180時間	週時間数	6週/180時間	
学習到達目標	・卒業生:2, 3年間の集大成として学んだことを発揮する			
評価方法 評価基準	・修了生:それぞれの学科の規定により定められた以上の分量、質で卒業生としての集大成となる作品制作をすること また、学科内で行われるプレゼンテーションにて完成品を発表し、卒業修了制作展で作品展示をすること 評価項目「作品の量」「作品の質」「完成度の高さ」「企画の質」「プレゼン能力」			
使用教材	それぞれの学科制作毎の規定に沿った画材、教材を使用する事			
授業外学習の方法	制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事			
学期	ターム (週)	項 目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	作品制作開始	事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる	
	2	作品制作2	個別添削を行いながら制作を進めていく	
	3	作品制作3	中間発表を行い、プレゼンテーション準備と展示企画についても	
			可視化していく	
	4	学科内プレゼンテーション	学科内でプレゼンテーションを実施	
			学科担任、学科非常勤講師、学科内学生全てでプレゼンテーションを聞く	
			・制作のポイント ・展示計画 ・プレゼン能力 ・資料の見やすさ など	
	5	発表を受けての修正と展示準備	各教室での展示計画と準備、	
			また、プレゼンテーションで受けた指摘の修正と追加制作	
	6	卒業・修了制作展	展示計画の基づき展示をし、外部の一般来場者を入れての作品発表を実施	
			・学科内の作品の見どころの紹介 ・一般来場者の対応	
			*学科内シフトにより登校	
			展示終了後は撤収と作品保管をする	
履修上の留意点				
・出席率が80%に満たない場合は、プレゼンテーション機会を与えない				
・プレゼンテーションにて不合格だった場合、修正し、翌週期限を設け再プレゼンテーションを実施 そこで一定の評価があれば合格とする				
・再プレゼンテーションで不合格の場合認定となる				